

第8回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

公の施設等について
～個別施設の現状と課題、その対応方針～

米平公共育成牧場（農林水産部）

令和6年5月10日（金）

○施設名 米平公共育成牧場

1 現状

(1) 施設の概要

- 米平公共育成牧場は、県北地域のモデル牧場として、放牧を活用した優良繁殖雌牛の飼育と肥育技術の実証展示を行うために昭和 56 年に設置し、雌牛の放牧管理と和牛の肥育技術を有する茨城県畜産農業協同組合連合会に貸付け、同連合会が主体的に運営を行っている。

所在地	高萩市大字中戸川字米平 2096 番地
開業年月	昭和 56 年 4 月
施設概要	施設敷地 1,405,340 m ² 、鉄骨造牛舎（延床面積：5,697.26 m ² ）、鉄骨造倉庫（延床面積 363.12 m ² ）、鉄骨造堆肥舎（延床面積 489 m ² ）、ほか
設置理由	県内雌牛の繁殖成績向上を目的とした放牧事業、高品質常陸牛生産のための肥育技術や飼料の給与実証を行うための施設
設置の根拠法令等	-
事業内容	県内繁殖雌牛の放牧、肥育技術の実証
定員	放牧地 牛 50 頭 肥育牛 250 頭
利用料金	預かり放牧 440 円/頭・日

(2) 管理手法 ※令和6年4月1日時点

- 運営コストの削減を図るため、開設当初の昭和56年度から雌牛の放牧管理技術と肥育技術を有する茨城県畜産農業協同組合連合会への貸付により行っており、同連合会が主体的に運営を行っている。

相手方	茨城県畜産農業協同組合連合会
契約形態	公有財産賃貸借契約（令和4年締結） 4年毎に更新
契約内容	施設敷地 1,061,003 m ² 、付帯施設 7 件の貸付け
貸付料（年額）	無償
その他	-

(3) 利用状況

- 利用頭数は、近年微増傾向で推移し、令和4年度は307頭と近年では最大となっている。
- 平成30年度に県内農家から、雌牛の繁殖成績を向上させることを目的に預かり放牧を開始したため、これ以降、利用頭数が増加している。主に牧場が所在している高萩市や近隣の太子町などからの利用が中心となっている

【利用者数の推移】

(単位：頭)

年度	R4 (ピーク)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4/ピーク
利用頭数	307	253	243	249	270	269	276	277	279	307	100%

(4) 運営状況

- 米平公共育成牧場においては、県内雌牛の繁殖成績の向上と高品質常陸牛の生産拡大等の目的を達成するため、繁殖雌牛の放牧、肥育技術の実証などを行ってきた。
- その結果、平成 29 年度から令和 3 年度にかけては景気の冷え込みやコロナ禍の影響による枝肉価格の低迷などにより、収支がマイナスとなったが、令和 4 年度は放牧頭数の拡大による利用料の増加や放牧による生産性の向上などにより黒字に転換している。
- なお、米平公共育成牧場の運営に関して、県は指定管理料や補助金等の費用負担は行わず、貸付先である茨城県畜産農業協同組合連合会において管理運営に伴い生じる費用を負担している。
- 茨城県畜産農業協同組合連合会が実施した修繕以外に、県においても繁殖雌牛の放牧を行うための放牧地の整備や台風等による法面崩壊の修繕を実施しており、平成 26 年以降の 9 年間で 1 年あたりの修繕費の平均は約 1,100 万円となっている。

【収支の推移】

(単位：千円)

年度	歳入計 (A)				歳出計 (B)					収支 (A-B)	【参考】 県実施の 修繕費
	利用料 収入	自主事業 収入	その他	人件費	維持 管理費	事業費	その他				
H26	139,553	0	138,160	1,393	151,621	4,099	9,323	137,357	842	△12,068	-
H27	367,155	0	366,259	896	365,876	4,223	5,724	355,154	775	1,279	-
H28	163,074	0	161,587	1,487	156,895	4,808	5,851	145,256	710	6,179	-
H29	156,454	0	154,604	1,850	163,754	4,362	6,500	152,335	557	△7,300	54,238
H30	183,039	1,597	179,135	2,307	207,026	4,507	8,505	192,226	1,788	△23,987	-
R 1	156,992	3,155	151,203	2,634	173,989	4,634	8,905	157,199	3,251	△16,997	-
R 2	197,429	4,403	190,582	2,444	206,838	6,597	8,279	187,016	4,946	△9,409	27,566
R 3	141,272	4,117	136,064	1,091	147,590	3,881	11,382	129,054	3,273	△6,318	-
R 4	197,826	4,617	192,630	579	194,305	3,910	10,241	176,335	3,819	3,521	16,379
平均	189,199	3,578	185,580	1,631	196,433	4,558	8,301	181,356	2,218	△7,233	10,909

【大規模修繕の推移】（10,000 千円以上の修繕を記載）

- 繁殖雌牛の放牧を行うための放牧地整備については、国補事業を活用し県が実施した。
- その他、台風や大雨による大規模な法面崩壊の復旧工事は県が実施し、施設の維持管理に関する小規模な修繕は貸付先の茨城県畜産農業協同組合連合会で実施している。

（単位：千円）

年度	修繕実績額	修繕内容
H26	—	—
H27	—	—
H28	—	—
H29	54,232	放牧地の整備、簡易な牛を繋ぐためのスタンションの整備や牧草の種子や肥料の散布
H30	—	—
R 1	—	—
R 2	27,566	台風 19 号による法面や山腹崩壊等に伴う復旧工事
R 3	—	—
R 4	16,379	大雨による採草地法面崩壊に伴う復旧工事
計	98,177	

（5）周辺エリア、類似施設等の状況

- 県北地域は和牛繁殖が盛んな地域であり、本地域に和牛のための放牧地があることで地域の繁殖農家の労力削減、生産性の向上が期待できる。
- 県内の公共牧場及び共同利用牧場は、採算性や老朽化などの問題から年々減少しており、令和 5 年度は米平公共育成牧場含めて 5 牧場で、このうち米平公共育成牧場を除く 4 牧場が管理主体は市町村となっている。

2 課題

- 施設設置から43年経過しており、放牧地や施設、設備の老朽化への対応が必要である。

3 対応方針

区分	今後の取組方針（案）	該当の有無
①	現状維持（現行の管理手法等での施設運営の合理化等）	○
②	施設のあり方検討（サウンディング調査の実施、外部委員会の開催等）	
③	民間活力導入による運営改善（施設リニューアル等）	
④	他団体への譲渡・譲与（民間、市町村等）	
⑤	廃止・休止・統合	

【方針】

- 現行での施設運営により合理化を図る。

【理由】

- 当施設はこれまで、県内繁殖雌牛の生産性向上と常陸牛の生産拡大並びに高品質化を図るため、農家の雌牛放牧や肥育技術の実証展示などを通じて、常陸牛のブランド化に一定の役割を果たしており、引き続き施設を存続させる必要がある。
- なお、施設の管理運営に当たっては、周辺地域に代替施設が無いほか、繁殖雌牛や肥育牛の飼養管理などの特殊な技術が必要なほか、採算性が課題であり、民間事業者での運営は困難であるなどの観点から、引き続き茨城県畜産農業協同組合連合会による管理運営を継続し、更なる放牧頭数の拡大などによる収入増加と生産性向上などの合理化に取り組んでいく。

公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	米平公共育成牧場	所管課	農林水産部畜産課
-----	----------	-----	----------

1 施設概要

所在地	高萩市大字中戸川字米平2096番地	整備年月	昭和56年4月
設置の根拠法令等	-		
設置目的	優良雌牛の放牧と肥育技術の実証展示により、繁殖成績の向上と高品質常陸牛生産の拡大を図る。		
事業内容	県内雌牛の繁殖成績向上を目的とした放牧事業、高品質常陸牛生産のための肥育技術や飼料の給与実証を実施。		
施設内容	施設敷地1,405,340㎡、鉄骨造牛舎（延床面積5,697.26㎡）、鉄骨造倉庫（延床面積363.12㎡）、鉄骨造堆肥舎（延床面積489㎡） ほか		

2 管理者

(令和6年4月1日現在)

管理区分	貸付け	管理者名	茨城県畜産農業協同組合連合会
体制	5人内訳	常勤職員	2人、非常勤職員 3人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(頭)	目標値	300	300	300	310	310
	実績	269	276	277	279	307

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	利用料収入	1,597	3,155	4,403	4,117	4,617
	自主事業収入	179,135	151,203	190,582	136,064	192,630
	その他	2,307	2,634	2,444	1,091	579
	合計①	183,039	156,992	197,429	141,272	197,826
支出	人件費	4,507	4,634	6,597	3,881	3,910
	維持管理費	8,505	8,905	8,279	11,382	10,241
	事業費	192,226	157,199	187,016	129,054	176,335
	その他	1,788	3,251	4,946	3,273	3,819
	合計②	207,026	173,989	206,838	147,590	194,305
収支(①-②)		△ 23,987	△ 16,997	△ 9,409	△ 6,318	3,521

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	-	-	27,566	-	16,379

※10,000千円以上の修繕費

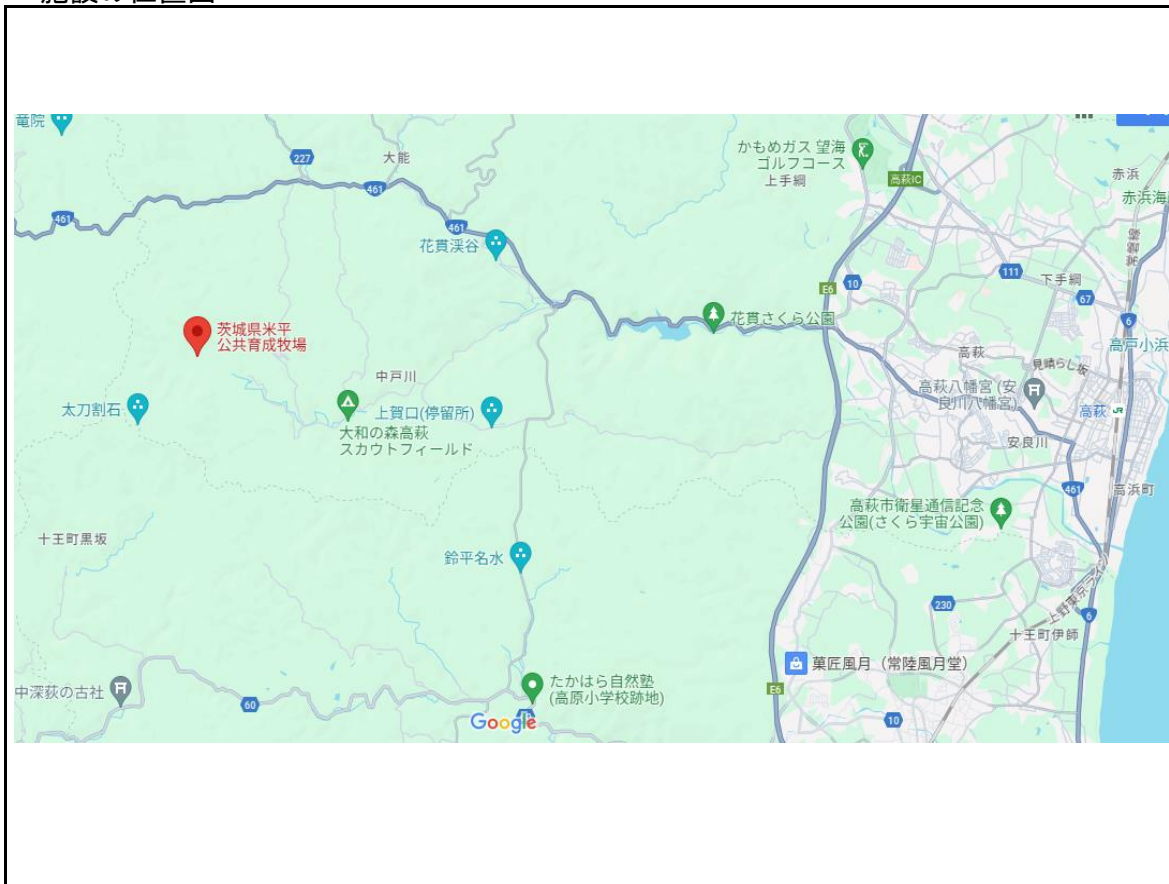
5 運営上の課題と対応

課題	対応
○昭和56年の開設から40年以上が経過しており、施設の老朽化進んでいる。	○貸付先である茨城県畜産農業協同組合連合会が修繕しながら、繁殖雌牛の放牧受け入れなど目的に沿って和牛を飼養し、活用している。 ○当施設はこれまで、県内繁殖雌牛の生産性向上と常陸牛の生産拡大並びに高品質化を図るため、農家の雌牛放牧や肥育技術の実証展示などを通じて、常陸牛のブランド化に一定の役割を果たしており、引き続き施設を存続させる必要がある。

※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図 (平面図)

